

令和6年度「第2回レーザ技術活用セミナー」

福岡県工業技術センター、福岡県工業技術センタークラブ機械・電子技術部会、
日本熱処理技術協会九州支部（共催）

福岡県工業技術センターでは、レーザ溶接、肉盛、熱処理が可能な「レーザ加工システム」及び、溶接用の「ファイバーレーザ溶接機」を整備し、県内企業へのレーザ技術導入を支援しています。本セミナーでは、これらレーザ技術を活用するための情報を提供いたします。ぜひ奮ってご参加ください。

日時：令和7年2月5日（水）13:00～17:15（受付12:30～）

場所：福岡県工業技術センター機械電子研究所（北九州市八幡西区則松3-6-1）

※会場のみ。オンライン配信はありません。

定員：40名 【参加費：無料】 ※交流会は別途会費が必要です

申込方法：裏面の申込用紙に必要事項を記載の上、メールまたはFAXにて送付下さい。

1月31日（金）〆切。※先着順に受付。定員に達し次第、受付を終了いたします。

【プログラム】

13:00～13:05 主催者挨拶

福岡県工業技術センター機械電子研究所長

牧野 晃久

13:05～13:50 最新のレーザ出力エネルギーコントロール技術

トルンプ株式会社

田代 良助 氏

レーザ出力のエネルギーコントロールは約30年前から使われています。最近のスキャナーの動きと協調させたエネルギーコントロールやエネルギー分布をコントロールして色々な効果目的とした制御方法の事例をご紹介します。

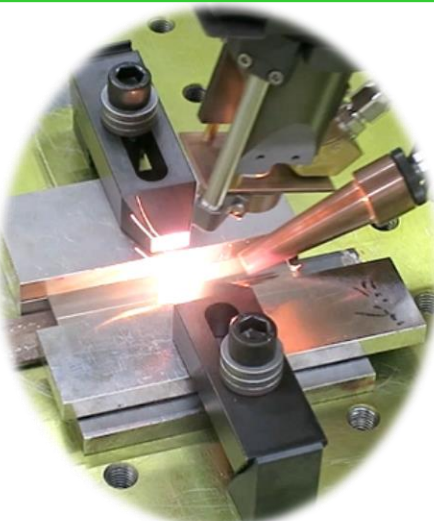
13:55～14:30 エンシュウのレーザの取組と

レーザ + ホットワイヤによるアルミ溶接への新提案

エンシュウ株式会社

久米 憲一 氏

昨今電動化の流れにて、軽量化、リサイクル性に最適なアルミ素材が注目されています。また部品を構成する上で、アルミの接合が重要なポイントになってきます。本講演では、アルミ溶接の課題に対して、新しい工法をご紹介します。



14:40～15:25 最新のレーザパラメータ管理 - 電気自動車関連

PRIMES Japan 株式会社

佐倉 正和 氏

近年のレーザ発振器の高出力・高輝度化に伴い、レーザ測定器への要望も変化してきています。本講演では、最新レーザに対応したレーザ測定技術や適用事例についてご紹介します。

15:30～16:15 レーザ技術を活用した球状黒鉛鑄鉄の

ノンフィラー重ね溶接および表面処理

ヒノデホールディングス株式会社

吉居 翔太郎 氏

マルチマテリアル化は産業領域でニーズがあり、異材接合技術が課題です。軽量化や疲労耐久性向上のために活用される球状黒鉛鑄鉄に対して、レーザ技術を活用し、鋼材との重ね溶接、アルミ合金の摩擦圧接で使用する鑄鉄材に表面処理を実施した事例についてご紹介します。

16:20～17:15 技術相談会 & 装置見学会

【技術相談会】対応：講演の講師様4名

【装置見学会】対応：材料技術課金属プロセスチーム職員

17:45～ 交流会

場所：JR折尾駅周辺 会費：6千円程度予定

詳細は後日、交流会申込者宛にご連絡いたします。

